

夏季湛水によるネズミムギ防除

福島県農業総合センター 作物園芸部 畑作科

1 部門名

普通作物-小麦-雑草防除

2 担当者名

遠藤央士、小森秀雄

3 要旨

県内の小麦産地では連作によりネズミムギが多発している地域があり、その耕種的防除として夏季湛水の有効性について検討した。

夏季湛水の効果は高く、夏季湛水と除草剤(土壌処理剤)を組み合わせることで効果は高まる。また、夏季湛水により播種前茎葉処理剤が省略できる。

- (1) 夏季湛水は、播種後に除草剤(土壌処理剤、ペンデイメタリン乳剤)のみを処理したときよりネズミムギの抑制効果が高く、両者を組み合わせることでより効果が高まる(図1)。
- (2) 夏季湛水+除草剤(土壌処理剤)は、播種前茎葉処理剤(グリホサートカリウム塩液剤)+除草剤(土壌処理剤)と同等の効果があることから、夏季湛水により播種前茎葉処理剤が省略できる(図1)。
- (3) 本試験の夏季湛水は、小麦収穫後の7月上旬に耕起・代かきし、8月末まで行った。夏季湛水を実施する場合の終了時期は、ほ場の土壌条件や麦の播種作業を考慮して決定する。

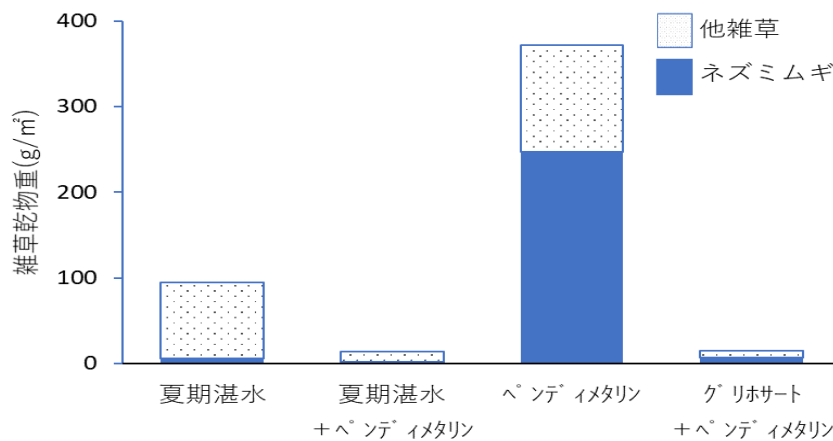


図1 夏季湛水によるネズミムギの防除効果(成熟期調査)

注 夏季湛水7月9日～8月31日。雑草は5月21日(小麦成熟期)に調査した。

ペンデイメタリンはペンデイメタリン乳剤、グリホサートはグリホサートカリウム塩液剤を示す。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成30年度～令和元年度
- (2) 研究課題名 麦類の低コスト・安定生産技術の確立

5 主な参考文献・資料

なし